

朱 家雄

(Zhu Jiaxiong)



華東師範大学教授

華東師範大学教授。学前教育研究所所長。中国学前教育研究会副理事長。上海市幼児教育研究会副会長兼秘書長。

中国教育部の国家プロジェクトである「学前教育学科養成目標・基準とカリキュラムの研究及び実践」、「幼児教育改革実験研究」などを担当する。

主な著作は、『幼稚園環境と幼児行動や発達の研究』、『早期教育におけるピアジェ理論の活用』など。

朱家雄学前教育研究:<http://www.zhujx.com/>

中国人から見た「小皇帝の涙」

私がインターネットからダウンロードし拝見した、NHKの「小皇帝の涙」というドキュメンタリーは、中国雲南省昆明市のある小学校の様子を撮影したものだが、いくつかの幼稚園の園長と先生たちに見せたところ、「真実味が感じられた。まるで自分の身の回りで起こったことのようによく描かれていた。」という声とともに、次の異なる3通りの意見が寄せられた。

- (1) 子どもたちがかわいそう。現状を変えるべきだ。
- (2) しょうがない。解決策はない。そうするしかない。
- (3) 啓発を受けた。自分の子もそうやって頑張って勉強に没頭してもらおうと思う。

私の考えは、様々である。たとえば、もし自分が発達心理学者あるいは教育者の立場にあったら、このような現象を非難し、「楽しい子ども時代を子どもに返せ」と主張するだろう。もし生態学者、人類学者の立場であったら、必然的生態現象であると思うだろう。もし政治学者の立場だったら、こうしないと国家の競争力を高められないので、こうすべきだと考えるだろう。もし一人の親の立場にあるなら、心に葛藤を抱きながら、考えた末、最終的には「わが子がスタートライン、或いはレースの途中で負けさせるわけにはいかない」と思うだろう。